

平成26年2月定例会 代表質問【質問者および質問項目】

質問日 平成26年3月5日(水) 質問者 6名

※質問時間は答弁時間を含めず、(基礎時間20分+会派構成議員数×5分)です。

発言順位	議員名(持ち時間)	会派名	発言事項
1	清水 正樹 (60分)	草政会	<ul style="list-style-type: none"> ○市政について <ul style="list-style-type: none"> ・自治体の適正規模について ・自治体の適正規模を目指した広域合併について ・国道1号と草津川跡地の平面交差について ・本市の財政状況について
2	奥村 恭弘 (35分)	市民派クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度施政方針について <ul style="list-style-type: none"> ・橋川市長のリーダーとしての思いについて ○平成26年度予算編成の施策について <ul style="list-style-type: none"> ・防災・安全のまちづくりの推進について ・教育の充実について ・子育て支援の充実について ・高齢者福祉の充実について ・草津川跡地の空間整備について ・中心市街地の活性化について ・コミュニティ活動の推進について ・市制60周年記念事業について ○湖南4市の新たな枠組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・湖南4市の新たな枠組みについて
3	木村 辰巳 (35分)	新生会	<ul style="list-style-type: none"> ○滋賀国体について <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ行政を一元化した取り組みと選手の育成について ○防災・安全のまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・台風18号の検証結果と26年度の施策展開について ○教育の充実・子育て支援の充実について <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある小学校教育の展開への評価と今後の方向性について ・子育て支援に対する26年度予算と事業展開、体制について ○中心市街地活性化計画について <ul style="list-style-type: none"> ・アニマート跡地を中心にしたまちづくりの展開について ・野村スポーツゾーンおよび(仮称)市民総合交流センターの現状と課題について ・ソフト施策の展開について ・まちづくり会社等との連携について ・スピーディーな空き店舗対策について ・南草津駅周辺のまちづくりについて ・既存の各種施策とのつながりと相乗効果について ・総合力を発揮するための組織力について

発言順位	議員名	会派名	発言事項
4	久保 秋雄 (35分)	日本共産党 草津市会議員団	○来年度予算編成方針について ・高齢者福祉の充実について
			○消費税増税と使用料・手数料の値上げについて ・消費税増税の中止を国に要請することについて ・増税に伴う地域経済活性化策について ・使用料・手数料の値上げ中止について
			○子ども・子育て支援新制度について ・新制度導入について ・市が保育施設への入所に責任を持つことについて ・認定こども園の問題点について
			○同和行政の完全終結について ・地域住民が同和行政を望まないときの市の取るべき方針について ・隣保館事業の点検・整理について ・同和問題にかかわる教育・啓発の終結について ・改良住宅の譲渡について ・地域改善向け住宅や改良住宅の空き家の一般公募について ・譲渡がなされない改良住宅の扱いについて ・改良住宅と草津川跡地整備事業をリンクさせ、都市計画に位置づけたまちづくりについて
			○教育について ・タブレット型パソコンの教育効果について ・教育行政のあり方について ・特別支援学校の新設と教育環境の改善を県に要請することについて
5	伊吹 達郎 (35分)	プロジェクトK	○スポーツ行政について ・スポーツ行政の進め方と施設の充実について
			○平成26年度予算について ・予算と補正予算の考え方について ・プライマリーバランスについて
			○草津市総合計画について ・第2期基本計画の今年度の振り返りについて ・草津川跡地整備事業の進め方について ・中心市街地活性化事業について ・コミュニティ活動の推進について
			○重要施策について ・防災・安全のまちづくりについて ・教育の充実について ・子育て支援の充実について ・高齢者福祉の充実について
			○企業誘致について
			○市制60周年記念事業について

発言順位	議員名	会派名	発言事項
6	西垣 和美 (30分)	公明党	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少時代に住みやすく、幸福実現度の高いグランドデザインについて <ul style="list-style-type: none"> ・20年後、30年後の草津市のグランドデザインについて ○「管理体」から「経営体」の組織へ <ul style="list-style-type: none"> ・政策立案できる人材育成について ・政策法務の能力向上の体制について ・新地方公会計のための人材育成とコスト意識を持った事務事業評価について ・道路の維持管理への適正な予算措置について ・人材育成への投資について ・情報提供や市民参加の手法について ○子ども・子育て支援新制度について <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の解消と草津市独自の事業実施について ・幼児教育の質の向上について ○住宅開発における課題と今後の都市計画について <ul style="list-style-type: none"> ・住宅開発における質の高い都市を目指した都市計画について ○一人を救うという視点の政治について <ul style="list-style-type: none"> ・一人を救うという政治への考え方について ○まちづくり協議会について <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の指定管理者制度への移行について ・ルールづくりについて ○市社会福祉協議会の中間支援組織について <ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織としての役割や体制について ○障害者差別解消法の成立に伴う今後の対応について <ul style="list-style-type: none"> ・2016年の施行に向けた取り組みについて ○教育について <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児支援における将来の就労を意識した取り組みについて ・学校教育におけるESDについて ・いじめ防止対策推進法の対応について ・教育委員会制度の改革について